

H 2 8 年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市デイサービスセンター 寿楽				
所在地	生駒市有里町95番地2				
指定管理者名	社会福祉法人 宝山寺福祉事業団	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	平成 33 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 1 年目		
設置目的	老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条第2項の規定により、本市に老人デイサービスセンターを設置				
主な実施事業等	入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導等を行う事業その他市長が必要と認める事業。				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
要支援者・要介護者	人	6,900	7,299	103.9%	新規利用者の増加

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考) 前年度実績
収入計	A	77,758,000	79,419,845	112,871,966
指定管理料				
利用料金収入	C	76,650,000	78,286,250	73,966,163
自主事業収入				
その他		1,108,000	1,133,595	38,905,803
支出計	B	77,758,000	77,613,447	116,449,336
指定事業費		77,758,000	77,613,447	116,449,336
うち人件費	D	56,010,000	56,490,610	48,518,203
うち再委託料	E			
自主事業費				
事業収支	A-B	0	1,806,398	-3,577,370
利用料金比率	C/A	0.986	0.986	0.655
人件費比率	D/B	0.720	0.728	0.417
再委託費比率	E/B			
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無		実施方法
		利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等	対応実績等
	別紙のとおり	利用者の声や思いは、些細な事でもサービス提供につなげるように取り組んでいる。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	各法律の目的に沿った事業運営を実施している。また、当年の事業計画にも沿って事業運営を行っている。
市の評価	機能訓練やコンプライアンスといった職員研修等、事業計画に沿った運営ができています。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	ケアマネより依頼のあった利用者については、定員超過の場合やハード面・医療面等において受入れが困難な場合を除き、受入れ利用してもらっている。
市の評価	介護保険制度及び市条例を遵守し、市民の平等な利用の確保に努めていただいている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	利用者アンケートを実施。常日頃から利用者を意識して、ニーズ把握に努め、個々の利用者で対応できることは、すぐに対応するよう心がけている。苦情については、都度、説明と謝罪を行っている。
市の評価	利用者アンケートの実施等や利用者の満足度向上のための取り組みがなされ、適切に運営されている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	光熱水費、送迎車ガソリン、ボイラー灯油を使用量・料金をグラフ化し、目に見える形ですることによって削減に取り組んだ。結果としては、料金は約3%削減できた。しかし、設備機器等の経年劣化が多くなり、設備機器の入替え・修理修繕が多くなってきている。
市の評価	生駒市環境マネジメントシステムに基づき、光熱水費削減等に取り組んでいただいている。設備機器の経年劣化についても市に遅滞なく報告した上で、適切に対応していただいている。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	居宅支援事業所への訪問を継続し、ケアマネジャーとの連携を強化している。また、介護者とのよりよい関係性を築けるよう、密に連絡・報告を行っている。また、利用者一人ひとりを意識したサービス提供に努めている。
市の評価	施設の認知度を上げるための居宅支援事業所への訪問やケアマネジャーとの連携といった取り組みや利用者の一人一人を意識した細やかな対応に努めることで、利用者が増加していることを評価している。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	人員配置については、基準以上の職員を配置し、法人内外の研修に参加している。法人内施設の協力を得ながら、地域交流を兼ねた秋祭りを地域自治会・子ども会・老人会に案内している。近隣にある保育園との交流も28年度から開始した。また、Facebookを通じて情報を発信している。
市の評価	積極的に研修に参加し、職員の能力向上を図るとともに、地域貢献、地域団体による慰問の活用、SNSを使用しているの広報活動等を積極的に行い、地域と密に連携をとっていただいている点を高く評価します。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
市の評価	
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	年2回の防災訓練を実施し、法人で行う防災研修にも参加している。個人情報保護に関しては、法人の指針を周知徹底している。介護施設でもIT化が進む中で、PCへのウイルスソフトの導入等、セキュリティを強化している。万一の事故が起きた場合、些細な事故・怪我であっても家族連絡を徹底している。また、隔年で生駒市消防署の協力を得て、救急救命講習を実施している。
市の評価	年2回の防災訓練を実施し、当市消防署と連携し、救急救命講習の実施も行っており、安全管理・危機管理体制の構築に努めていただいている。また、情報管理の研修にも参加し、情報の保護にも努めていただいている。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	利用回数の増加に伴い、安定的な事業運営ができています。また、当法人の事業規模からして、事業継続は可能だと考えています。
市の評価	今後も利用者の増加に努めるとともに、安定的な事業活動を継続できるよう、適切に運営してください。

6 指定管理者の財務の状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
資産	6,102,847,804	6,210,875,344	6,167,021,704
流動資産	693,878,731	756,640,536	816,808,341
固定資産	5,408,969,073	5,454,234,808	5,350,213,363
負債	490,705,091	454,730,483	252,953,484
流動負債	202,103,273	188,309,333	239,997,034
固定負債	288,601,818	266,421,150	228,956,450
純資産	5,612,142,713	5,756,144,861	5,698,068,220
資本金	778,885,360	778,885,360	778,885,360
売上高	3,154,197,581	3,278,009,853	3,292,603,216
経常利益	121,153,626	264,567,670	37,522,893

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
自己資本比率 純資産/資産×100	92.0%	92.7%	92.4%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	8.7%	7.9%	8.2%
固定比率 固定資産/純資産×100	96.4%	94.8%	93.9%
流動比率 流動資産/流動負債×100	343.3%	401.8%	340.3%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	91.7%	90.6%	90.3%
総資産回転率 売上高/資産×100	51.7%	52.8%	53.4%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	2.0%	4.3%	0.6%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	居宅支援事業所への訪問の強化、各ケアマネージャーやご家族との連絡等を強化することで、利用総数の増加につながっていると感じている。今後もこれらの取り組みは継続しながら提供するサービスの向上と新しい取組を考えながら、スタッフの質の向上やスタッフの確保にも力を入れていきたい。法人内にあるデイサービスやヘルパーステーションなどの在宅サービス事業所や入所施設などとも連携をして、柔軟に高齢者の受け入れを行い、地域の高齢者を支えていきたい。
市の評価	職員の施設内外の研修への参加、様々な行事の開催や地域貢献等で、職員的能力向上やより良いサービスの提供に努められています。又、新規利用者が増加していること及びアンケート等の利用者満足度も高いことから、日頃の取り組みの成果が発揮されていると高く評価しています。